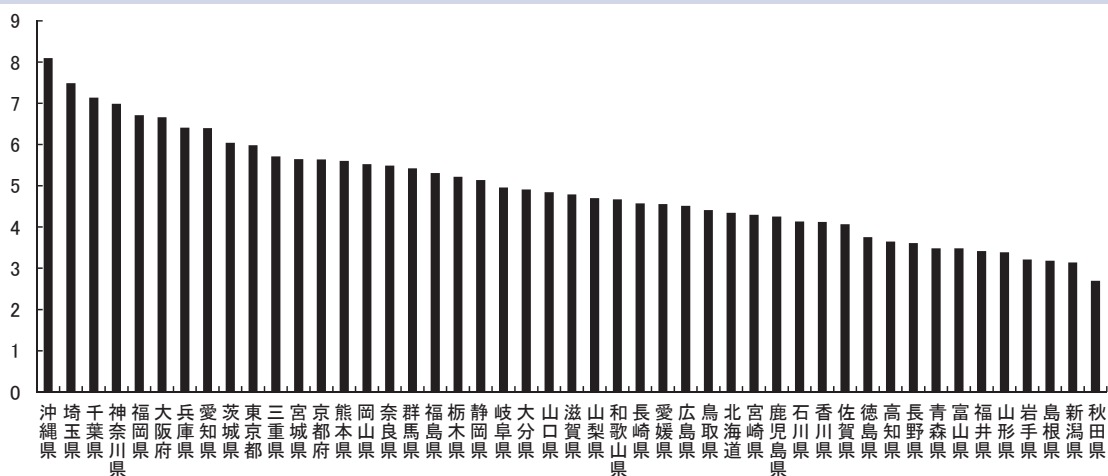


FOCUS・都道府県の統計

開業率の高い都道府県はどこ？

政府は、近年4～5%程度で推移している開業率を英国や米国と同レベル(10%台)にまで引き上げることを目指しています。では、日本で起業が活発な地域はどこなのでしょう。都道府県別の開業率(2016年度)をみると、上位には埼玉県、千葉県、神奈川県といった首都圏が並んでいますが、沖縄県が首都圏を抑えてトップとなっています。沖縄県は2016年以前から開業率上位に位置しており、その背景の一つには行政による制度面での後押しが挙げられます。例えば、経済特区に指定されており、他の都道府県にない税制優遇を受けられることや県による創業資金の融資制度があります。

資料 都道府県別・開業率(2016年度)



※開業率=当該年度に雇用関係が新規に成立した事務所数/前年度平均の適用事務所数×100
(出所)厚生労働省「雇用保険事業年報」

編集後記

昨年は、もしかしたら一触即発もあり得るのではという話も一蹴できないような緊張感のあった北朝鮮の核ミサイル開発問題だったが、平昌オリンピックを境に状況が一変。板門店での南北首脳会談から歴史的な米朝首脳会談開催へと一気に動き出している。ただこれまで何度も合意、破棄を繰り返していることもあり関係者の捉え方は様々だ。

相場の世界では「今度は違う」というのは禁句であり、人間のやることはそう簡単に変わらないというのが相場の教えではある。現段階で今回の動きがどう進んでいくのか不明であるが、仮に「今度は違う」となれば東アジアの安全保障の枠組みが変わり、経済地図も塗り替えられるかもしれない歴史的な動きであり目が離せない。加えて中東地域の問題はより複雑になり、EUも統合深化のかけ声がむなしく響くような出来事が数多く起きている。正に世界は動いている。

一方国内を見渡すと、経済面ではすっきりデフレ脱却とはいかないが輸出、設備投資主導で底堅い成長を続けており2018年も景気は心配ないという見方が大勢だ。確かに見える範囲では不安材料はないが、働き方の問題、幼児から大学まで教育の問題、医療費の問題、財政の問題、規制の問題と、常時課題は提示されているのになかなか解けないという状況は変わらない。

世界は動き国内は課題山積という状況であるのに全体的に今ひとつ緊張感に欠けるような気がする。農業、工業ときて情報の時代と言われて久しいが情報機械、機器ではなく情報そのものが世の中を動かす時代に先進「工業」国日本は先進国でいられるのだろうか?(H.S)